



【教育目標】 つなぐ力を持ち、自ら考え判断し行動できる生徒の育成
 ～ 創造(考えて)・挑戦(やってみて)・感動(次の意欲へ)～



めざす学校像

- ・すべての生徒が安心できる、存在感や充実感を感じられる学校(自尊感情・自己有用感の醸成)
- ・保護者、地域から愛され信頼される学校(安全安心・学力保障)
- ・教職員にとって働きがいのある学校(目的と手段の明確化・選択と集中)

めざす生徒像

- ・自己選択・自己決定を通して、在りたい自分(未来の自分)を描ける生徒(体験の保障、選択肢の拡大)
- ・失敗をおそれず、困難に立ち向かっていく生徒
- ・体験から得た喜びや悔しさを、次への意欲に変えていく生徒

めざす教職員像

- ・生徒に愛情をもって接し、適切な指導と必要な支援のバランス感覚に優れた教職員
- ・高い倫理観をもち、保護者や地域から信頼される教職員
- ・学び続ける姿勢をもち、指導力・授業力を高めあえる教職員
- ・自らの責任を果たし、協働できる教職

【重点取組1】

「確かな学力の育成」

- ・「自分の意見を書く」「互いの意見を聞いて話し合う」「意見をまとめる」「発表する」活動の充実
- ・ユニバーサルな授業環境を整備し、ICTの活用を通して情報活用能力を育成
- ・自主学習ノートの活用(予習・復習)

【重点取組2】

「安全安心な居場所づくりと絆づくりに向けた生徒指導」

- ・生徒との信頼関係を基盤にした組織的で機動的な生徒指導の推進(褒めて・認めて伸ばす)
- ・未然防止、早期発見・早期対応、組織的対応の徹底
- ・防災・防犯訓練、研修の充実

【重点取組3】

「地域とともにある学校づくり」

- ・学校運営協議会を中核としたコミュニティ・スクール事業の推進(「熟議」・主催事業の設定)
- ・積極的な小中特連携の推進
- ・積極的な情報発信(学校だよりやの発行・ホームページの更新)



- 「自分の意見を書く」「互いの意見を聞いて話し合う」「意見をまとめる」「発表する」活動の充実
- ・全ての授業の中で実践し、思考力・活用力・表現力を育成する。
- ICT等を活用した授業改善
- ・全ての教科の基本的な学習場面に、ICT等を適切に用いて、情報活用能力を育成する。
- 道徳教育、キャリア教育の充実
- ・つなぐ力の醸成
- ・人権教育の視点を大切にし、多様な学びの場の確保・充実に努める。
- 放課後学習や自主学習ノートの活用と充実を図る。(学習意欲向上と学習習慣の定着⇒研究推進とリンク)
- ・問題演習をはじめ、反復学習を推進する。(基礎基本の定着)



- 積極的な生徒指導の推進
- アンケートの実施、教育相談強化週間の設定、定例の生徒指導委員会の開催、適宜ケース会議の開催(SC、SSW、関係機関等との連携)
- 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の実践と切れ目のない支援体制充実に向けた関係機関との連携
- 安全管理の徹底
- ・感染症予防の徹底(早期対応とまん延防止)
- ・定期的な安全点検と環境整備
- 生徒会活動の充実活性を図り、生徒が自分たちの学校を自分たちの手でよくしようとする活動を支援指導する。
- 訓練・研修の実施
- ・教職員の危機管理意識・危機対応力向上、生徒の安全意識・危機回避能力の向上



- 地域とともにある学校づくり
- ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を中核とし、地域住民の主體的な学校運営への参画を図る。(学校経営ビジョン・めざす子ども像等の共有)
- 地域・保護者等との協体制確立
- ・「保護司・民生委員合同会議」開催
- ・地域派出所との連携
- ・「子どもを守る家」による見守り
- 愛郷心・地域貢献意識の向上
- ・ボランティア活動に積極的に参加することで、ふるさと意識(愛郷心)の醸成を図る。
- 小中連携を積極的に行い、校区小学校6年生の中学校体験や入学に際して説明会を実施する。



【重点取組4 教職員の育成と働き方改革(ウェルビーイングな職場)】

- ・コミュニケーションを活発にし、風通しがよい働きがいのある職場づくりをすすめる。
- ・タイムマネジメントを意識した働き方(木曜日の定時退勤17:00“意識改革”と“ラインケア”)
- ・計画的年休取得(健康管理の推進)